

2009

H21

第 17 回 あマ指国家試験

(あマ指 17) 医療概論

1~2

あ 17-1 我が国の医療従事者で最も数が多いのはどれか。

1. あん摩マッサージ指圧師
2. 看護師
3. 薬剤師
4. 医師

あ 17-2 我が国の最近の国民医療費はどれか。

1. 約 300 億円
2. 約 3000 億円
3. 約 3 兆円
4. 約 30 兆円

(あマ指 17) 衛生学公衆衛生学

3~11

あ 17-3 健康日本 21 で食塩摂取量の 1 日当りの目標値はどれか。

1. 1 g
2. 5 g
3. 10 g
4. 15 g

あ 17-4 食品衛生法で表示が義務づけられていないのはどれか。

1. 遺伝子組換え食品
2. アレルギー物質を含む食品
3. 食品添加物
4. 健康食品

あ 17-5 京都議定書(1997 年)の目的はどれか。

1. 温室効果ガスの排出制限
2. 希少生物種の保護
3. 熱帯雨林の保護
4. 砂漠化の防止

あ 17-6 蚊が媒介する疾患はどれか。

1. コレラ
2. ラッサ熱
3. ペスト
4. デング熱

あ 17-7 感染症法で 1 類感染症はどれか。

1. 急性灰白髄炎
2. 痘そう
3. マラリア
4. 腸管出血性大腸菌感染症

あ 17-8 保健統計で患者数を分母とするのはどれか。

1. 罹患率
2. 有病率
3. 致命率
4. 死亡率

| | |
|-------------------|------|
| (あマ指 17) 衛生学公衆衛生学 | 3~11 |
|-------------------|------|

あ 17-9 特定保健指導の対象とならないのはどれか。

1. 糖尿病
2. 高血圧
3. 胃がん
4. 脂質異常症

あ 17-10 作業関連疾患で誤っている組合せはどれか。

1. 潜函作業 ケイソン病
2. VDT 作業 眼精疲労
3. 粉じん作業 バセドウ病
4. フッ素作業 鼻中隔穿孔

あ 17-11 我が国の定期予防接種に含まれないのはどれか。

1. 三種混合ワクチン(DPT)ワクチン
2. 二種混合ワクチン(MR)ワクチン
3. 流行性耳下腺炎ワクチン
4. インフルエンザワクチン

| | |
|---------------|-------|
| (あマ指 17) 関係法規 | 12~15 |
|---------------|-------|

あ 17-12 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律で欠格事由でないのはどれか。

1. 外国国籍の者
2. 大麻の中毒者
3. 業務に関し不正の行為があった者
4. 罰金以上の刑に処せられた者

あ 17-13 あん摩マッサージ指圧師の免許取消しに該当しないのはどれか。

1. 厚生労働大臣の職権による場合
2. 自発的意志による申請の場合
3. 破産の宣告がされた場合
4. 失踪の宣告がされた場合

あ 17-14 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律で施術所の備えるべき要件に含まれないのはどれか。

1. 施術室
2. 機能訓練室
3. 待合室
4. 消毒設備

あ 17-15 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律で施術者が広告できないのはどれか。

1. 住所
2. 施術日時
3. 予約に基づく施術
4. 流派

| | |
|--------------|-------|
| (あマ指 17) 解剖学 | 16~33 |
|--------------|-------|

あ 17-16 骨組織について誤っている記述はどれか。

1. 骨膜は関節面では欠ける。
2. 骨層板の中心にはフォルクマン管がある。
3. ハバース管は緻密質にある。
4. 骨髓は造血作用を持つ。

あ 17-17 車軸関節はどれか。

1. 胸鎖関節
2. 肩関節
3. 腕尺関節
4. 上橈尺関節

あ 17-18 横隔膜について誤っている記述はどれか。

1. 頸神経の枝に支配される。
2. 吸気筋として働く。
3. 大動脈裂孔を迷走神経が通る。
4. 腰椎の椎体に起始を持つ。

あ 17-19 上肢帯の骨に停止する筋はどれか。

1. 肩甲下筋
2. 三角筋
3. 前鋸筋
4. 大胸筋

あ 17-20 橈骨に停止しない筋はどれか。

1. 円回内筋
2. 回外筋
3. 上腕筋
4. 上腕二頭筋

あ 17-21 筋の起始と停止が2つ以上の関節にまたがるのはどれか。

1. 外閉鎖筋
2. 腸骨筋
3. 長内転筋
4. 半腱様筋

あ 17-22 寛骨の周囲の筋で大転子に停止しないのはどれか。

1. 大腰筋
2. 中殿筋
3. 小殿筋
4. 梨状筋

あ 17-23 下肢の筋で腱が外果の後方を通過するのはどれか。

1. 長指屈筋
2. 長腓骨筋
3. 前脛骨筋
4. 後脛骨筋

あ 17-24 肝臓について誤っている記述はどれか。

1. 後面は下大静脈に接する。
2. 胆嚢は方形葉と左葉との間にある。
3. 肝鎌状間膜で右葉と左葉に区分される。
4. 肝門を門脈が通る。

あ 17-25 腎臓について誤っている記述はどれか。

1. 右腎臓は十二指腸に接する。
2. 腎小体は皮質に存在する。
3. 腹膜後器官である。
4. 集合管はネフロンの一部である。

あ 17-26 内腸骨動脈の枝でないのはどれか。

1. 上殿動脈
2. 内陰部動脈
3. 閉鎖動脈
4. 卵巣動脈

あ 17-27 リンパ系に属さないのはどれか。

1. 胸 管
2. 胸 腺
3. 甲状腺
4. 脾 臓

あ 17-28 運動線維を含まない脳神経はどれか。

1. 上顎神経
2. 下顎神経
3. 舌咽神経
4. 迷走神経

あ 17-29 脳神経について誤っている記述はどれか。

1. 滑車神経は上斜筋を支配する。
2. 三叉神経は歯の痛覚に關与する。
3. 顔面神経は涙腺の分泌に關与する。
4. 舌咽神経は舌筋を支配する。

あ 17-30 腕神経叢の枝とその支配筋との組合せで誤っているのはどれか。

1. 腋窩神経 棘下筋
2. 胸背神経 広背筋
3. 肩甲上神経 棘下筋
4. 肩甲下神経 大円筋

あ 17-31 皮膚の部位と支配する脊髄神経の高さについて正しい組合せはどれか。

1. 乳 頭 第2 胸神経
2. 剣状突起部 第5 胸神経
3. 臍 第10 胸神経
4. 鼠径溝 第1 仙骨神経

あ 17-32 大脳基底核に含まれないのはどれか。

1. 黒 質
2. 淡蒼球
3. 被 殻
4. 尾状核

あ 17-33 眼球について正しい記述はどれか。

1. 強膜は膠原線維に富む。
2. 結膜は涙腺を覆う。
3. 脈絡膜は色素に乏しい。
4. 網膜の最内層に視細胞がある。

あ 17-34 細胞外液の体重に占める割合で正しいのはどれか。

1. 5 %
2. 20 %
3. 40 %
4. 60 %

あ 17-35 赤血球の新生について正しい記述はどれか。

1. 鉄は不要である。
2. 成人では主に脾臓で起こる。
3. エリスロポエチンにより抑制される。
4. 赤血球への成熟過程で細胞核は消失する。

あ 17-36 収縮期の血圧が最も低いのはどれか。

1. 内頸動脈
2. 肺動脈
3. 肝動脈
4. 腎動脈

あ 17-37 深い吸気に関与しないのはどれか。

1. 腹斜筋の収縮
2. 胸鎖乳突筋の収縮
3. 外肋間筋の収縮
4. 横隔膜の収縮

あ 17-38 健常成人の胃液に含まれないのはどれか。

1. 塩酸
2. ムチン
3. ペプシン
4. ビリルビン

あ 17-39 栄養素について正しい記述はどれか。

1. グリコーゲンから糖新生が行われる。
2. 単純脂肪には窒素が含まれる。
3. ビタミンEは脂溶性である。
4. 必須アミノ酸は体内で合成される。

あ 17-40 体温について正しい記述はどれか。

1. 鼓膜温は核心温度の指標として用いられる。
2. 夜間から早朝は日中より高い。
3. 身体活動により低下する。
4. 成人女性では排卵を境にして高温期から低温期に移行する。

あ 17-41 下垂体ホルモンによって調節されるのはどれか。

1. アドレナリン
2. インスリン
3. コルチゾール
4. パラソルモン

あ 17-42 分娩時に子宮収縮作用を発揮するホルモンはどれか。

1. オキシトシン
2. プロラクチン
3. エストロゲン
4. プロゲステロン

あ 17-43 神経の静止電位として適切なのはどれか。

1. + 80 mV
2. + 15 mV
3. 0 mV
4. - 80 mV

あ 17-44 有髄神経線維の活動電位で誤っている記述はどれか。

1. 両方向へ伝導する。
2. 絶縁伝導する。
3. ランビエの絞輪で発生する。
4. 振幅は伝導中に変化する。

あ 17-45 交感神経刺激に対する効果器の反応として誤っているのはどれか。

1. 副腎からのアドレナリン分泌の増加
2. 肝臓からのグリコーゲン放出の増加
3. 皮膚血管の拡張
4. 立毛筋の収縮

あ 17-46 骨格筋の収縮について誤っている記述はどれか。

1. 筋収縮に従って熱が発生する。
2. エネルギー源として ATP を用いる。
3. 日常の運動は単収縮によって行われる。
4. カルシウムイオンが必要である。

あ 17-47 興奮すると伸張反射を起こす受容器はどれか。

1. 侵害受容器
2. 筋紡錘
3. ゴルジ腱器官
4. マイスネル小体

あ 17-48 メルケル盤が刺激されて起こる感覚はどれか。

1. 触圧覚
2. 温 覚
3. 冷 覚
4. 痛 覚

あ 17-49 視覚について誤っているのはどれか。

1. 瞳孔の大きさを変えて明るさの調節を行う。
2. 水晶体の厚みを変えて遠近調節を行う。
3. 硝子体の働きによって暗順応を行う。
4. 視細胞の働きによって色の識別を行う。

あ 17-50 医原性の薬剤障害で誤っている組合せはどれか。

- | | |
|--------------|--------|
| 1. ペニシリン | 肺線維症 |
| 2. サリドマイド | アザラシ肢症 |
| 3. ストレプトマイシン | 聴覚障害 |
| 4. キノホルム | スモン |

あ 17-51 生活習慣病に属さないのはどれか。

1. 糖尿病
2. 肺 癌
3. 気管支喘息
4. 脳血管障害

あ 17-52 門脈圧亢進症状として誤っているのはどれか。

1. 腹 水
2. 肺うっ血
3. 食道静脈瘤
4. メズサの頭

あ 17-53 血栓を起こしやすい疾患でないのはどれか。

1. 壊血病
2. 悪性腫瘍
3. 敗血症
4. 熱 傷

あ 17-54 貧血性梗塞を起こしやすい臓器でないのはどれか。

1. 心 臓
2. 肺
3. 腎 臓
4. 脳

あ 17-55 急性炎症でないのはどれか。

1. 漿液性炎
2. 化膿性炎
3. 壊死性炎
4. 肉芽腫性炎

あ 17-56 自己免疫異常による疾患でないのはどれか。

1. 全身性エリテマトーデス
2. 関節リウマチ
3. クロイツフェルト・ヤコブ病
4. 原発性胆汁性肝硬変症

あ 17-57 錐体外路疾患はどれか。

1. ハンチントン病
2. ギラン・バレー症候群
3. 多発ニューロパチー
4. 重症筋無力症

あ 17-58 表在反射でないのはどれか。

1. 咽頭反射
2. 下顎反射
3. 腹壁反射
4. 拳拏筋反射

あ 17-59 疼痛の発現を陽性判定の根拠としない検査法はどれか。

1. ラセーグテスト
2. パトリックテスト
3. トーマステスト
4. マクマレーテスト

あ 17-60 栄養状態の指標となる血清生化学検査項目はどれか。

1. AST(GOT)
2. アミラーゼ
3. アルブミン
4. アルカリフォスファターゼ

あ 17-61 飲酒に起因する健康障害はどれか。

1. 肝硬変
2. 白血病
3. 膠原病
4. メニエール病

あ 17-62 発疹をきたさないのはどれか。

1. 麻疹
2. 梅毒
3. 流行性耳下腺炎
4. 猩紅熱

あ 17-63 発熱を疑わせる症状で適切でないのはどれか。

1. 発汗
2. 頻脈
3. 悪寒
4. 起坐呼吸

あ 17-64 出血傾向をきたさないのはどれか。

1. 再生不良性貧血
2. 悪性貧血
3. 紫斑病
4. 血友病

あ 17-65 勃起障害(ED)をきたすのはどれか。

1. 高血圧症
2. 糖尿病
3. 脂質異常症
4. 痛風

あ 17-66 高齢になると発症頻度が増加するのはどれか。

1. 急性虫垂炎
2. クローン病
3. 十二指腸潰瘍
4. 逆流性食道炎

あ 17-67 弛緩性便秘の原因はどれか。

1. 喫煙
2. 不眠
3. ビタミン不足
4. 運動不足

あ 17-68 高熱期と平熱期が交互にみられ、日差が1 以上あるのはどれか。

1. 稽留熱
2. 弛張熱
3. 間欠熱
4. 波状熱

あ 17-69 デュシェンヌ型筋ジストロフィーで生じにくいのはどれか。

1. 母指球の萎縮
2. 登はん性起立
3. 動揺性歩行
4. 腓腹筋の仮性肥大

あ 17-70 ベル麻痺について誤っている記述はどれか。

1. 額のしわがなくなる。
2. 開眼が困難になる。
3. 鼻唇溝が浅くなる。
4. 口角が下垂する。

あ 17-71 パニック障害について誤っている記述はどれか。

1. 発作に対する不安が常にある。
2. 突然呼吸が苦しくなる。
3. まとまりのない思考になる。
4. 一人での外出を嫌がる。

次の文で示す症例について、あ 17-72、あ 17-73 の間に答えよ。

「56 歳の男性。半年前から日中の眠気、倦怠感、集中力障害が出現している。ウエスト周囲径 120cm、血清トリグリセリド値 250mg/dl、収縮期血圧 170mmHg。」

あ 17-72 最も考えられるのはどれか。

1. 脳梗塞
2. 狭心症
3. 睡眠時無呼吸症候群
4. 痛風

あ 17-73 最初に行うのはどれか。

1. 食事療法
2. 行動療法
3. 薬物療法
4. 手術療法

次の文で示す症例について、あ 17-74、あ 17-75 の間に答えよ。

「50 歳の男性。1 か月前から右上腕と手背の橈側にしびれ感と痛みがある。右上肢に脱力感があり肩も挙上しにくい。近医にての診断を受けた。」

あ 17-74 この症例に行うテストで適切なものはどれか。

1. ジャクソンテスト
2. ライトテスト
3. ヤーガソンテスト
4. ボンネットテスト

あ 17-75 この症例について誤っているのはどれか。

1. 男性に多い。
2. 椎間板変性を基盤とする。
3. 病変は上位頸椎にある。
4. 進行すると痙性麻痺を起こす。

あ 17-76 腰部脊柱管狭窄症で適切でないのはどれか。

1. 馬尾神経の圧迫が起こる。
2. 窩刺痛が生じる。
3. 間欠跛行を示す。
4. 腰椎伸展位で症状が軽減する。

あ 17-77 骨粗鬆症で適切でない記述はどれか。

1. 骨量が減少した状態である。
2. 骨吸収率は骨形成率より低下している。
3. 甲状腺機能亢進症で起こる。
4. 脊椎圧迫骨折が起こる。

あ 17-78 骨折で皮膚に創があり外界との交通があるのはどれか。

1. 病的骨折
2. 完全骨折
3. 粉碎骨折
4. 複雑骨折

あ 17-79 強い心窩部痛を起こすのはどれか。

1. 食道静脈瘤
2. 萎縮性胃炎
3. 急性膵炎
4. 劇症肝炎

あ 17-80 潰瘍性大腸炎で正しいのはどれか。

1. 回盲部に好発する。
2. 大量の水様性下痢をみる。
3. 家族性に発症する。
4. 大腸癌の危険因子である。

あ 17-81 肺癌について誤っている記述はどれか。

1. 我が国の悪性腫瘍による死亡者数の第1位を占める。
2. 喫煙による発癌リスクが高い。
3. ダンピング症候群を併発する。
4. 上大静脈症候群を併発する。

あ 17-82 甲状腺機能低下症の症状について誤っているのはどれか。

1. 寒さに強い
2. 徐脈
3. 眉毛の外1/3の脱毛
4. 活動性の低下

あ 17-83 疾患と症状との組合せで適切でないのはどれか。

- | | |
|----------------|-------|
| 1. ベーチェット病 | 視力障害 |
| 2. 全身性エリテマトーデス | 手指の変形 |
| 3. 進行性全身性硬化症 | レイノー病 |
| 4. 関節リウマチ | 尺側偏位 |

あ 17-84 関節リウマチで起こりにくいのはどれか。

1. 出血傾向
2. 朝のこわばり
3. 対称性関節腫脹
4. 赤沈値亢進

あ 17-85 前立腺肥大症の症状で誤っているのはどれか。

1. 頻尿
2. 残尿感
3. 尿失禁
4. 多尿

あ 17-86 甲状腺の疾患でないのはどれか。

1. バセドウ病
2. アジソン病
3. クレチン病
4. 橋本病

あ 17-87 糖尿病性眼病変で起こりにくいのはどれか。

1. 網膜白斑
2. 網膜出血
3. うっ血乳頭
4. 白内障

あ 17-88 ウイルス性疾患と併発症との組合せで適切でないのはどれか。

- | | |
|------------|--------|
| 1. 麻疹 | 脳炎 |
| 2. 水痘 | 口唇ヘルペス |
| 3. 風疹 | 先天性奇形 |
| 4. 流行性耳下腺炎 | 睾丸炎 |

あ 17-89 突発性難聴で正しい記述はどれか。

1. 若年者に多い。
2. めまいはない。
3. 顔面神経麻痺を伴う。
4. 感音性難聴である。

あ 17-90 三種混合ワクチンに含まれないのはどれか。

1. 破傷風
2. 百日咳
3. 腸チフス
4. ジフテリア

あ 17-91 国際生活機能分類の障害レベルについて正しい組合せはどれか。

- | | |
|-----------|------|
| 1. 片麻痺 | 活動制限 |
| 2. 更衣動作困難 | 機能障害 |
| 3. 復職困難 | 参加制約 |
| 4. 排尿障害 | 参加制約 |

あ 17-92 関節運動と最大可動域との組合せで正しいのはどれか。

- | | |
|--------------|------|
| 1. 片肩関節内転 | 30度 |
| 2. 肘関節屈曲 | 145度 |
| 3. 膝関節伸展 | 180度 |
| 4. 足関節伸展(背屈) | 50度 |

あ 17-93 作業療法について誤っているのはどれか。

1. 職業の専門的技術指導を行う。
2. 日常生活動作の指導を行う。
3. 精神機能の評価を行う。
4. 自助具の作成を行う。

あ 17-94 温熱療法で直接深部を温めるのはどれか。

1. ホットパック
2. パラフィン浴
3. 赤外線
4. 超音波

あ 17-95 異常歩行とその原因との組合せで誤っているのはどれか。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 墜落跛行 | 脚長差 |
| 2. 間欠跛行 | 閉塞性動脈硬化症 |
| 3. 大殿筋歩行 | 筋ジストロフィー症 |
| 4. はさみ足歩行 | 大腿四頭筋筋力低下 |

あ 17-96 脳卒中の合併症で誤っているのはどれか。

1. 褥 創
2. 嚥下性肺炎
3. 自律神経過反射
4. 深部静脈血栓症

あ 17-97 脳卒中の急性期リハビリテーションで誤っているのはどれか。

1. 肩手症候群の治療
2. 良肢位保持
3. 座位保持訓練
4. 関節可動域訓練

あ 17-98 脳性麻痺について誤っている記述はどれか。

1. 受胎から生後 4 週までに生じた脳病変を原因とする。
2. 永続的な、運動と姿勢の異常がみられる。
3. アテトーゼ型では筋緊張が動揺する。
4. 痙直型両麻痺では下肢に比べ上肢の障害が強い。

あ 17-99 慢性閉塞性換気障害に対するリハビリテーションで誤っているのはどれか。

1. 体位ドレナージ
2. 胸式呼吸訓練
3. 持久力訓練
4. 口すぼめ呼吸

あ 17-100 疾患と装具との組合せで誤っているのはどれか。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 正中神経麻痺 | コックアップスプリント |
| 2. 腰椎椎間板障害 | 軟性コルセット |
| 3. 変形性膝関節症 | 足底装具 |
| 4. 総腓骨神経麻痺 | 短下肢装具 |

あ 17-101 五味と五香の組合せで正しいのはどれか。

- | | |
|---------|-------|
| 1. 苦 い | 腐れくさい |
| 2. 甘 い | 脂くさい |
| 3. 塩からい | 焦げくさい |
| 4. 辛 い | 生ぐさい |

あ 17-102 強い怒りによって傷られる臓はどれか。

1. 肝
2. 心
3. 肺
4. 腎

あ 17-103 肝の臓について誤っているのはどれか。

1. 血を臓す。
2. 昇清を主る。
3. 疏泄を主る。
4. 筋を主る。

あ 17-104 心を剋する臓の生理作用はどれか。

1. 運化
2. 納気
3. 治節
4. 統血

あ 17-105 次の文で示す患者の病証として適切なのはどれか。

「40歳の男性。食欲がなく、食べると腹が張り、便は軟らかい。四肢が冷えて疲れやすい。」

1. 肺気虚証
2. 心血虚証
3. 脾陽虚証
4. 肝陰虚証

あ 17-106 切経で按圧によって診るのはどれか。

1. 硬結
2. 皮膚温
3. 知覚鈍麻
4. 皮膚のざらつき

あ 17-107 舌診部位と臓腑の組合せで正しいのはどれか。

1. 舌中部 肝
2. 舌根部 肺
3. 舌辺部 腎
4. 舌尖部 心

あ 17-108 シクシクとした持続的な痛みはどれか。

1. 脹痛
2. 隱痛
3. 重痛
4. 刺痛

あ 17-109 小腹不仁について誤っているのはどれか。

1. 小腹の動悸
2. 小腹の無力空虚
3. 小腹の知覚鈍麻
4. 腎虚の腹証

あ 17-110 経脈流注で正しい記述はどれか。

1. 手の陰経は手から始まり胸で終わる。
2. 手の陽経は顔から始まり手で終わる。
3. 足の陽経は顔から始まり足で終わる。
4. 足の陰経は足から始まり顔で終わる。

あ 17-111 腹部正中から外方2寸を走行する経脈はどれか。

1. 胃 経
2. 脾 経
3. 腎 経
4. 胆 経

あ 17-112 経脈の流注で、左は右に行き、右は左に行くのはどれか。

1. 小腸経
2. 大腸経
3. 三焦経
4. 膀胱経

あ 17-113 経脈と所属経穴との組合せで誤っているのはどれか。

1. 胃 経 梁 門
2. 胆 経 京 門
3. 脾 経 章 門
4. 肝 経 期 門

あ 17-114 僧帽筋上にない経穴はどれか。

1. 天 膠
2. 肝 兪
3. 風 門
4. 臑 兪

あ 17-115 手関節横紋上にない経穴はどれか。

1. 太 淵
2. 大 陵
3. 合 谷
4. 陽 池

あ 17-116 大腿外側部にある経穴はどれか。

1. 風 市
2. 血 海
3. 豊 隆
4. 殷 門

あ 17-117 肩外兪について誤っているのはどれか。

1. 肩甲挙筋上にある。
2. 太陽経に所属する。
3. 陶道の外3寸に取る。
4. 肩甲棘内端の上際を取る。

あ 17-118 原穴が動脈拍動部でない経脈はどれか。

1. 腎 経
2. 三焦経
3. 胃 経
4. 肺 経

あ 17-119 前腕後外側から示指にかけての痛みに対する治療で経脈の流注を考慮した場合、施術対象となるのはどれか。

1. 心包経
2. 心 経
3. 小腸経
4. 大腸経

あ 17-120 次の文で示す患者の病証に対し、施術対象となる経脈はどれか。

「30歳の女性。長時間パソコンを使用すると目がかすむ。月経血量が少ない。わずかなことで怒りやすい。」

1. 足の厥陰経
2. 手の少陰経
3. 足の太陰経
4. 手の太陰経

あ 17-121 次の文で示す末梢神経麻痺に対し、施術対象となる罹患筋はどれか。

「足関節の底屈(屈曲)ができず、階段昇降が困難である。」

1. 下腿三頭筋
2. 前脛骨筋
3. 長母指伸筋
4. 長腓骨筋

あ 17-122 前頭部にビリッとした電撃様の痛みが走る場合、罹患神経を圧迫する治療穴として適切なのはどれか。

1. 聴 宮
2. 陽 白
3. 四 白
4. 下 関

あ 17-123 特発性肋間神経痛による背部から側胸部にかけての痛みに対し局所治療穴として適切なのはどれか。

1. 膈 俞
2. 次 髎
3. 秩 辺
4. 中 極

あ 17-124 骨粗鬆症患者に対する施術で最も注意が必要なのはどれか。

1. 背腰部の母指圧迫法
2. 腹部の手掌軽擦法
3. 殿部の手根揉捏法
4. 下腿部の母指揉捏法

あ 17-125 拘縮期の五十肩に対する治療で適切でないのはどれか。

1. 低周波通電療法
2. 極超短波療法
3. 固 定
4. コッドマン体操

あ 17-126 次の文で示す患者の病態に対する治療で適切でないのはどれか。

「60歳の女性。数年前から膝が痛む。膝の熱感・腫脹はない。」

1. 階段昇降運動を指示する。
2. 大腿四頭筋のマッサージを行う。
3. 関節周囲の軽擦法を行う。
4. 低周波通電を行う。

あ 17-127 次の文で示す患者の病態に対し、局所治療の対象となるのはどれか。

「21歳の男性。陸上の長距離選手。ランニング中に右膝外側が痛む。」

1. 膝蓋靭帯
2. 半腱様筋
3. 腸脛靭帯
4. 縫工筋

あ 17-128 理学的検査所見と罹患局所への施術部位との組合せで適切なものはどれか。

- | | |
|----------------|----------|
| 1. チェアテスト陽性 | 結節間溝部 |
| 2. スパーリングテスト陽性 | 頸椎部 |
| 3. ヤーガソンテスト陽性 | 上腕骨外側上顆部 |
| 4. ライトテスト陽性 | 手根管部 |

あ 17-129 耳鳴りに対する局所治療穴として適切なものはどれか。

1. 天 枢
2. 郄 門
3. 膏 肓
4. 翳 風

あ 17-130 大腸の腑の病による便秘に対して用いる募穴はどれか。

1. 期 門
2. 中 極
3. 中 府
4. 天 枢

あ 17-131 月経痛に対し、最も施術の適応となるのはどれか。

1. 不正性器出血を伴う場合
2. 帯下を伴う場合
3. 月経ごとに痛みが増強する場合
4. 月経前緊張症を伴う場合

あ 17-132 腹痛に対し、最も施術の適応となるのはどれか。

1. タール様便がみられる場合
2. ブルンベルグ徴候がみられる場合
3. 精神的ストレスによる場合
4. 嘔気、冷汗を伴う場合

次の文で示す患者について、あ 17-133、あ 17-134 の問に答えよ。

「30歳の男性。2か月前より右殿部から下腿後面・足底にかけて痛む。間欠跛行はない。右 SLR テスト陽性。足背動脈の拍動は触知可能。」

あ 17-133 最も考えられる疾患はどれか。

1. 腰部脊柱管狭窄症
2. 腰椎椎間板ヘルニア
3. 閉塞性動脈硬化症
4. 糖尿病性神経障害

あ 17-134 徒手による神経伸展法を行う場合、対象となる罹患神経はどれか。

1. 大腿神経
2. 坐骨神経
3. 上殿神経
4. 下殿神経

次の文で示す患者について、あ 17-135、あ 17-136 の問に答えよ。

「60歳の女性。腰がだるく、腰下肢が冷えて疲れやすい。頻尿を伴う。」

あ 17-135 病証として適切なものはどれか。

1. 気虚証
2. 血虚証
3. 陽虚証
4. 陰虚証

あ 17-136. 施術対象となる経脈はどれか。

1. 肝 経
2. 心 経
3. 肺 経
4. 腎 経

次の文で示す患者について、あ 17-137、あ 17-138 の間に答えよ。

「26歳の女性。便秘と下痢が交互に反復する。粘血便は出ないが、精神的ストレスと関連して発症する。」

あ 17-137 認められる症状として適切でないのはどれか。

1. 発熱
2. 兔糞便
3. 腹痛
4. 腹部膨満感

あ 17-138 臍の左側3寸5分の部位に顕著な圧痛を認めた。相当する経穴はどれか。

1. 盲 兪
2. 大 横
3. 天 枢
4. 帶 脈

次の文で示す患者について、あ 17-139、あ 17-140 の間に答えよ。

「43歳の女性。3週間前から母指、示指、中指に痛み・しびれが発症し、最近では母指が動かさにくい、仕事は手作業。」

あ 17-139 理学的検査法として適切なものはどれか。

1. ファレンテスト
2. フローマン徴候
3. チェアテスト
4. ドロップアームテスト

あ 17-140 治療対象となる罹患神経はどれか。

1. 尺骨神経
2. 正中神経
3. 橈骨神経
4. 腋窩神経

あ 17-141 便通を促す腹部の揉捏法で最も適切なものはどれか。

1. 二指揉捏法
2. きりもみ状揉捏法
3. 母指揉捏法
4. ろとう揉捏法

あ 17-142 古法あん摩で緊急する筋を指ではじく手技はどれか。

1. 墨規矩の術
2. 利関の術
3. 解釈の術
4. 調摩の術

あ 17-143 あん摩の基本手技でないのはどれか。

1. 軽擦法
2. 強擦法
3. 揉捏法
4. 圧迫法

あ 17-144 徒手筋力テストでMMT0の場合に行う運動法はどれか。

1. 他動運動法
2. 自動介助運動法
3. 自動運動法
4. 抵抗運動法

あ 17-145 指圧の基本圧法で誤っているのはどれか。

1. 衝圧法
2. 吸圧法
3. 持続圧法
4. 垂直圧法

- あ 17-146 1 回の手技に最も時間をかけて行う押圧法はどれか。
1. 緩圧法
 2. 吸圧法
 3. 衝圧法
 4. 通常圧法
- あ 17-147 皮膚の触圧受容器として誤っているのはどれか。
1. 高閾値機械受容器
 2. ルフィニ終末
 3. マイスネル小体
 4. パチニ小体
- あ 17-148 内臓に病変があると体幹の筋に持続的収縮を起こす反射はどれか。
1. 内臓 - 内臓反射
 2. 内臓 - 体性反射
 3. 体性 - 運動反射
 4. 体性 - 内臓反射
- あ 17-149 症状とマッサージの治療的作用との組合せで誤っているのはどれか。
- | | |
|----------|------|
| 1. 知覚鈍麻 | 興奮作用 |
| 2. 神経痛 | 鎮静作用 |
| 3. 関節の腫脹 | 矯正作用 |
| 4. 便秘 | 反射作用 |
- あ 17-150 キャノンの緊急反応時にみられる生体現象として誤っているのはどれか。
1. 瞳孔散大
 2. 心拍出量増加
 3. 血糖値上昇
 4. 胃腸運動亢進